

2018（H30）年度 第2回苫小牧市美術館協議会

日 時 2019年3月28日（木） 13時30分～14時45分

会 場 苫小牧市美術博物館1階研修室A

出席委員 揚妻委員（委員長）、林委員（副委員長）、居島委員、橋爪委員、石川委員、
菊地委員、山田委員 計7名

欠席委員 坂元委員、金田委員、大澤委員

事務局 （美術博物館）瀬能部長、五十嵐館長、武田主査、小泉主査、
細矢主任学芸員、福田学芸員、江崎学芸員、岩波学芸員
沖津主事

1 開会 小泉主査

2 部長挨拶 瀬能教育部長

3 議案（揚妻会長が進行）

（1）議案1 平成31年度事業計画について

（2）議案2 平成31年度予算について

（3）議案3 平成29年度苫小牧市美術博物館自己点検評価

（4）その他

（1）議案1 平成31年度事業計画について

事務局から説明。高速道路中央インター工事の際の、遺跡発掘調査の遺物及び市民公表について説明を求められ、担当の北海道埋蔵文化財センターのデータが入手できれば、本市の調査報告会開催時に詳細を公表したいと、事務局が回答した。

また、特別展・企画展とも苫小牧ゆかりのテーマを選んだ理由は？との質問に対しては、展示と共に歴史などの博物部門の紹介も同時に行うことで、複合施設のメリットを活かせると思い企画したと回答した。また、それに関連して委員から、特別展の舞台である第一洋食店の、特色ある建物事体の紹介もしてほしい旨の要望があった。

（2）議案2 平成31年度予算について

事務局から説明。歳入に関する質問があり、市民文化芸術振興基金の概要、及び観覧料の算出根拠について教えてほしいとのことだった。事務局担当者は、前者は市が保有している基金であり、該当する事業に対して繰入金という形で入ってくるもの、後者は過去3年間のデータの平均値をとるルールになっていることを伝えた。なお、観覧料については、今後は各事業の入館者数の目標値から算定することについても考慮したいと付言した。

（3）議案3 平成29年度苫小牧市美術博物館自己点検評価について

事務局から説明。委員より、わからない部分が多い、記入方法が難しい、各事業ごとに入館者数等の目標値と、それに対する達成度の標記がないため評価しづらい、等の意見があった。また、29年度の評価を今頃されても、翌年度の予算や事業計画に反映できないの

で、30年度の自己点検報告や評価はすぐにやっていただきたい、との要望があった。

事務局側は、平成26年度より評価基準の改良を重ねてきたが、今後も常に見直しをしながら、より良いものを作り上げていきたい。また、30年度の報告や評価については、委員の意見や評価が、翌年度の館の体制にフィードバックできるように、スケジュールを組んでいきたいと回答した。

(4) その他

事務局からのお願いがあり、本日「二次評価」を提出できなかった委員については、本協議会での質疑応答を参考にして、4月中旬ごろまでに提出していただきたいとのことであった。なお、集計後の結果については、後日公表する予定である。

以上